

# 第四次川南町長期総合計画

(2001年～2010年)

生まれて育ったことに誇りの持てるまち

— 川 南 —

平成13年3月  
宮崎県川南町

新世紀へのシナリオ

## 第四次川南町長期総合計画策定にあたってのごあいさつ

新しい世紀の扉が開き、いよいよ私たちは 21 世紀を歩き始めました。

国内外の諸々の情勢が激しく変化する中であって、我が国は、世界の経済主要国としての新たな対応が求められています。

また、急速な少子高齢化や国際化、さらに IT 革命、地球環境問題への意識の高まりなど、時代は大きく変ぼうしようとしており、町政の推進に当たりましては、21 世紀のスタートを担う首長として、こうした時代の潮流を把握し、あらゆる課題に積極的に対応していかなければなりません。

これからの町づくりは、絶えず個性的で創造的な取り組みを心がけることが最も肝要であると認識しております。

このため、本町では、時代に即した町政の諸問題や町民ニーズに対応し、町域の均衡ある発展を図っていくための道筋を明確にするため、平成 3 年度に策定しました長期総合計画の改定を行い、このたび平成 13 年度を初年度とし、平成 22 年度を目標とする「第四次川南町長期総合計画」を策定いたしました。

この計画は、目標を「ニューフロンティア精神の町づくり」とし、町民一人ひとりが、開拓者の方々がなしたあの大偉業の精神を引き継ぎ、主票として定めた 5 つの項目のもと、「生まれ育ったことに誇りの持てる町川南」をその将来像としており、その実現をめざして、新たな前進を開始いたします。生活環境の整備・産業の振興・福祉の充実・教育文化の向上・効率的行財政の推進等の施策を展開してまいり所存でございます。

私は、これまで町政の推進に対しましては、町民との対話を基本としながら、誠心誠意努力をし、第三次長期総合計画の各政策についてはほぼ実施してきたと思っておりますが、これからの 10 年間は町民生活に真の豊かさを実感できる 21 世紀の「活力と魅力に満ちた川南」を目指すため、さらなる努力と実行を持って対応する必要があると自覚しています。

この第四次長期総合計画を取り巻く環境は大変厳しいものがあると推察しますが、目標達成へ向けて、国県をはじめ、関係機関のご指導、ご支援を得ながら、全力をあげて町政を推進していく所存であります。このため町民参加や広域行政・効率的な行財政の運営・地方分権の推進・IT 分野等の積極的な取り組みをしてまいりますので、町民皆様には行政と一体となった住みよい町づくりにご協力いただきますよう心からお願い申し上げます。

最後に、この計画の策定に当たりましては、川南町総合計画審議会の委員の皆様をはじめ、町議会議員の慎重なるご審議、またアンケート調査や直接のご意見をいただきました多くの方々に対して、厚くお礼を申し上げますとともに、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 13 年 3 月

川南町長 河野 寛 一





## 答申を終えて

この度、第四次川南町長期総合計画審議会委員を代表いたしましてご挨拶を申し上げます。

前回の第三次長期総合計画は平成 12 年度を目標年次に平成 3 年 3 月に策定されましたが、今回はその計画を改定されるにあたり、私共 15 名の委員で構成する川南町総合計画審議会委員として委嘱を受け早速当計画の審議に取り組んだ次第でございます。

本計画は、平成 13 年から平成 22 年までの 10 年間という長いスパンとなり町民生活に直結した極めて重要な計画書づくりとなっています。しかしながら、21 世紀を迎えた今や日本経済の構造的な変化をはじめ、話題となっている IT、さらには高齢少子化問題、人口減少、国際化等課題は山積みし農業等基幹産業の低迷や商業活動の不振等、不安材料は多く厳しい状況に直面しています。この様な情勢下にあって町は「第三次行政改革大綱」等によりできる限りの改革に取り組む等これらの問題を十分認識しながら強い信念で進めていく必要があると思います。

そこで今回の計画策定にあたっては 50 年前の先人達のたくましい開拓精神を基盤に、目標「ニューフロンティア精神の町づくり」をめざし、将来像「生まれて育ったことに誇りの持てるまち川南」の実現に努めるために町の基本的施策として大きく 5 項目が策定してあります。いわゆる新しい開拓精神で町づくりに取り組もうという基本理念により行政を執行しようという考えの下に本計画が策定されていますが、この目標スローガンのとおり一致団結し定めた目標に向かって全力を傾注していただきたいと願っています。尚、今回の審議にあたり町は事前に住民のアンケート調査や調整運営の基本である「町民との対話」の実施等、実態調査を十分活用されての取り組みは大変効率的であると評価するものでございます。

本審議会においては毎回あらゆる分野にわたり慎重に審議を重ね委員間においても意見仲の場面もあり、大変熱心な実りのある審議会であったと思います。

長期構想につきましては、

行財政の効率化を図る上で広域処理や、広域合併は今後重要な政策課題と思われるが、町民の理解と総意を念頭に、また、望ましい行政サービスの向上に努めていただきたい。少子高齢化が進行する中、本町産業は極めて厳しい状況下にあるが、今後更に地域の活力が低下することのないよう福祉の充実、産業の振興、住環境整備のため施策を推進し、活力ある本町の将来像の実現に努めていただきたい。

東九州自動車道に設置されるサービスエリアの整備については、道路利用者のみならず町民の利用活用により地域振興が図れるよう、その施設内用の対応に検討いただきたい。等、以上の 3 点をふまえ、諸政策を推進されることを要望いたします。委員をはじめ関係各位の皆様には厚くお礼を申し上げます。

この計画の推進にあたり町当局におかれましては、町議会をはじめ町民の一層の理解のもと、住民と行政が一体となって本町の特性や資源を最大限に発揮され「ニューフロンティア精神の町づくり」へ向けて邁進されますことを要望し、ご挨拶と致します。

平成 13 年 3 月

川南町総合計画審議会

会長 細 谷 サツエ

## 第四次川南町長期総合計画 / 目次

第1部 総合計画策定の前提	
第1章 計画策定の背景	1
第2章 川南町の概要	
第1節 川南町の沿革	2
第2節 自然的条件	2
第3節 社会的条件	3
第3章 計画の構成	
第1節 基本構想	5
第2節 基本計画	5
第3節 実施計画	5
第2部 基本構想	
第1章 計画の目標	
第1節 川南町の将来像	6
第2章 計画の主要指標	
第1節 人口	8
第3章 基本的施策	
第1節 誰もが住みたくなる郷土の創造	11
第2節 自然を生かした活力ある地域産業の展開	13
第3節 健康で思いやりのある社会づくりの推進	15
第4節 個性豊かな人づくりと文化の高揚	16
第5節 計画の実現に向けて	17
第3部 基本構想	
第1章 誰もが住みたくなる郷土の創造	
第1節 有効な土地利用	18
第2節 道路網の整備	20
第3節 生活環境の整備	24
第4節 安全な地域社会づくり	31
第2章 自然を生かした活力ある地域産業の展開	

第1節 農業の振興	3 5
第2節 漁業・林業の振興	4 6
第3節 商工業の振興	5 2
第4節 観光資源の開発	5 6

### 第3章 健康で思いやりのある社会づくりの推進

第1節 保健衛生の充実	5 8
第2節 社会福祉の充実	6 1
第3節 社会保障制度の充実	6 8

### 第4章 個性豊かな人づくりと文化の高揚

第1節 学校教育の充実	7 3
第2節 社会教育の推進	7 6
第3節 町民文化の向上	7 9

### 第5章 計画の実現に向けて

第1節 町民参加のまちづくり	8 2
第2節 効率的行財政の推進	8 4

### 付属資料

町民意識調査結果	9 3
総合計画審議会諮問	1 0 1
総合計画審議会答申	1 0 2
総合計画審議会委員名簿	1 0 4
長期総合計画策定の経緯	1 0 5
長期総合計画策定委員会名簿	1 0 6